授業科目 NO. 404 基礎看護技術論Ⅳ (看護過程展開技術)

Fundamental Nursing Skills IV (Nursing Process)

授業の形態： 演習

単位数(時間数)： 1単位(30時間)

開講年次・学期： 2年次・前期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 看護過程、問題解決思考、ヘンダーソンの看護論

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標 (GIO)

看護専門職として看護学の知識、技術、実践力を修得するために、看護過程展開技術の基礎的知識が説明できる。また、対象との援助的コミュニケーションの方法を、看護過程展開技術に活用することについて説明できる。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 看護過程の定義、構成要素が説明できる。(②)
- (2) 看護過程における基本的考え方(問題解決思考、クリティカルシンキング、リフレクション)が説明できる。(②)
- (3) ヘンダーソンの看護論に基づく看護過程について説明できる。(②)
 - ① 各人の生活行動を援助するための情報収集として、「基本的看護の構成要素(14項目)」、「基本的欲求に影響を及ぼす常在条件」、「基本的欲求を変容させる病理的状态」が説明できる。
 - ② 収集したデータを確認、分類・解釈し、基本的欲求が充足した状態から未充足の状態を理由をもって判断することができる。
 - ③ 「基本的欲求」・「基本的欲求を変容させる病理的状态」・「基本的欲求を変容させる病理的状态」の情報を関連させ全体像を記載することができる。
 - ④ 未充足状態と判定した2項目について基本的欲求を充足するために、その原因・誘因を考えながら体力・意思力・知識の何がどのように不足しているのかを検討することができる。
 - ⑤ 未充足状態と判定した2項目について基本的欲求の未充足状態とそれを引き起こす原因・誘因の特定、看護問題の明確化ができる。
 - ⑥ 看護問題の優先順位をつけることができる。

- ⑦ 自立度の向上と基本的欲求の充足を目指した長期・短期目標を設定することができる。
- ⑧ 看護目標を達成するための看護計画を患者の個別性と 5W1H を意識し具体的に立案することができる。
- ⑨ 立案した計画に基づいて基本的欲求を充足するための生活行動を援助する際に安全・安楽・自立の視点で配慮することや留意点が説明できる。
- ⑩ 実施記録の記載内容と留意点が説明できる。
- ⑪ 患者の行動の変容と看護目標との比較を通して、目標の達成度を評価することが説明できる。
- ⑫ 患者の行動が変容しない時や新たな欲求が生じた時は、計画を修正することが説明できる。

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	50%
実習成績	%
レポート(課題レポート・事例展開)	50%
授業態度	%
小テスト	0%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

定期試験成績が 6 割に満たない場合は、再試験の対象とする。評価期日を過ぎて提出されたレポートは 0 点とする。

5 教 育 担 当 者

科目責任者：宮永 葵子

教 授	松井 希代子 (基礎看護学)
准 教 授	宮永 葵子 (基礎看護学)
講 師	新井 里美 (基礎看護学)
助 教	釜谷 友紀 (基礎看護学)
助 教	白藤 友紀 (基礎看護学)

6 教育担当者の実務経験

担当教員は、全員が看護師としての実務経験を有している。

7 教科書

- 1) 永田明監：看護がみえる vol.4 看護過程の展開、MEDIC MEDIA
- 2) 茂野香おる、他著：系統看護学講座専門分野 基礎看護技術 I 基礎看護学 2、医学書院
- 3) 江崎フサ子、他著：ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト、ヌーベルヒロカワ
- 4) 小田正枝編：アセスメント・看護計画がわかる 症状別看護過程 第2版、照林社

8 推薦参考書

これまでの看護学の学修に使用した資料や看護過程に必要なテキストをそれぞれ活用します。

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業は看護過程を段階的に教授し、暫時演習を実施し各自が電子カルテ上の事例で看護過程を展開するように進行します。
- ・演習では基礎看護学教員がグループを担当して指導にあたります。
- ・事前・事後学修時間は、授業1コマにつき、計90分程度必要です。
- ・看護過程展開に必要な基本的知識の学修、基礎的知識および関連テキストを用いて思考し、記録します。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

レポートについては、授業の中で解説を行います。

11 履修上の注意事項

- 1) 個人作業とグループ作業がありますので、各人が自発的に学びを深めるよう努力し、協調性を持って学修してほしい。
- 2) レポート等の提出物は期日厳守して下さい（評価の対象とします）。

12 オフィスアワー等

質問は随時可。不在時はメールで連絡ください。土日は、返答できないことがあります。

宮永葵子 (aiko3000@kanazawa-med.ac.jp)

第2学年

基礎看護技術論Ⅳ

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月04日(金)	1	講義	ガイダンス、看護過程の定義、看護過程の基本的考え方、ヘンダーソン看護論		基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	2	4月11日(金)	1	講義 演習	事例展開(情報の分類と充足・未充足の判断) / 学生半分が対象		基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	3	4月11日(金)	2	演習	事例展開(情報の分類と充足・未充足の判断) / 学生半分が対象	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前		4月11日(金)	3	講義 演習	事例展開(情報の分類と充足・未充足の判断) / 学生半分が対象		基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前		4月11日(金)	4	演習	事例展開(情報の分類と充足・未充足の判断) / 学生半分が対象	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	4	4月18日(金)	1	講義	事例展開(情報の分類と充足・未充足の判断)	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	5	4月18日(金)	2	演習	事例展開(アセスメントと全体像)	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	6	4月25日(金)	1	講義	事例展開(アセスメントと全体像)	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	7	4月25日(金)	2	演習	事例展開(アセスメントと全体像)	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	8	5月02日(金)	1	講義 演習	事例展開(未充足項目のアセスメントと看護問題の明確化、看護問題の優先順位)	グループワーク レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	9	5月09日(金)	1	講義 演習	事例展開(未充足項目のアセスメントと看護問題の明確化、看護問題の優先順位)	レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	10	6月06日(金)	1	講義 演習	事例展開(未充足項目のアセスメントと看護問題の明確化、看護問題の優先順位)	レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	11	6月13日(金)	1	演習	事例展開(目標設定、看護計画立案)	レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	12	6月20日(金)	1	演習	事例展開(看護計画立案)	レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	13	6月27日(金)	1	演習	事例展開(看護計画立案)	レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	14	9月01日(月)	1	演習	看護介入	レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
前	15	9月01日(月)	2	演習	実施内容の記録、目標達成度の評価、看護計画の修正、看護診断	レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教